

【社会科実践例①】

梁取 真理

1 単元

日本の中世社会とは？

～武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのか？～

2 目標

古代から中世への時代の節目や変化を、資料を根拠にして多面的・多角的に考察することを通して、中世社会の特色を自分の言葉で語ることができる。

3 研究主題とのかかわり

視点①生徒の推論の思考に沿った単元構成

視点②トゥールミンモデルを用いたワークシートと意見交流

4 指導計画(単元の)

(1)鎌倉時代の年表づくりと、単元の課題に対する仮説の形成、解決に必要な情報や手段の見通しをもつ。

(2)武士の起こりから鎌倉文化までの学習を基に、古代と中世の時代の節目を考える。

(3)(2)と元寇から戦国時代までの学習を基に、古代と中世における日本社会の変化を政治・文化・産業の発展・東アジアの情勢の4つの面でまとめて、中世社会の特色を説明する。

5 成果と課題

○年表を作成してから仮説の立ち上げを行ったことで、すべての生徒が仮説を形成できた。仮説の形成に必要な十分な情報が生徒たちにあったからだと考える。

○中世の節目を考える本時の授業では、自由交流でお互いの意見を積極的に聞きに行く姿が見られた。多様な仮説が出たことで、疑問が生まれ、探究への意欲付けにつながったのではないかな。

○トゥールミンモデルを使って根拠と理由付けを分けて考えさせたため、何を議論しているのか、議論の中心は何かかわかりやすかった。

○1学期からトゥールミンモデルを何度か使ってきたため、生徒もスムーズにかけており、半数以上の生徒が根拠と理由を明らかにして説明できるようになってきていた。

○本時では、中世が武士の世であるという意見が多く、政治面を重視していつ武士が権力を握ったのかという議論が多かったが、中世の最後の学習ではXチャートを用いたため、多面的に考えられた生徒が多かった。

▲自由交流の際は、話しやすい人とだけ交流する生徒がいた。単元の課題に対する探究意欲を全員が高く持てたわけではない。また、誰がどの意見なのかタブレットと電子黒板を用いて可視化した方が良かった。そうすることで、自分と異なる意見を聞きに行きやすかったと考える。

▲Xチャートでのまとめ活動では、やはり政治面をたくさん記入する生徒が多く、東アジアの情勢や、産業面の記入が少なくなってしまう。古代との違いが分かりにくかったのか、内容の理解が難しかったのか考えていきたい。

▲根拠と理由付けを混同する生徒がいる。1学期から指導してきており理解が進んでいるが、他教科との連携ができないか考えていきたい。

【社会科実践例②】

伊藤 駿

1 単元名 殺人未遂を認めている乙姫を、刑務所に入れるか？それとも執行猶予にするか？

2 目標

・被告人の乙姫を刑務所に入れるか執行猶予にするかについて、番組で説明される証言や証拠、検察・弁護士双方の言い分を理解することができる。

- ・根拠を示しながら、多角的・多面的な考えを持つことができ、その考えを伝えることができる。
- ・裁判員裁判に対する関心を高め、現代の裁判の抱える課題や判決を下すうえでの考えなどを意欲的に追及することができる。

3 研究主題との関わり

視点①根拠を示して、論理的に議論することができる

4 指導計画(単元の)

- (1)課題を確認して番組を視聴し、理由や根拠を明確にして自分の考えを書く。
- (2)裁判の争点を確認し、自分自身の意見を整理する。
- (3)裁判で出た証言や証拠をグループで整理しながら、討論する。
- (4)刑務所に入れるか執行猶予にするか班で、根拠を示して、議論する。
- (5)最終的な自分の考えを決定し、レポートに記入する

5 成果と課題

- 単元の課題を把握することで、必要なものを取捨選択させたことで、ぶれずに学習が進められた。
- 動画や証拠資料を使うことで、根拠を示して議論したり、論理的に学習を進めることができた。
- 意見、根拠、理由づけを考えさせる際にモデルを提示し、生徒と評価規準を共有したことで、学習をスムーズに進めることができた。

△ 根拠の明確さや根拠と意見を結び付ける点については、不明瞭な生徒が多い。そのため、モデルの提示や評価基準を示していく。

【社会科実践例③】

名前 齋藤 淳

1 単元

中世の学習(鎌倉・室町時代)を振り返り、まとめよう(1年)

2 目標

鎌倉時代と室町時代の出来事について比較を通して、中世の日本を大観し時代の特色を捉える。

3 研究主題とのかかわり

視点①タブレットPCを使い、それぞれの時代の出来事(政治、経済、文化)について調べる。

視点②学習班で、鎌倉・室町時代の出来事を年代に沿った
チャート図をタブレットPCにつくる。

4 指導計画(単元の)

- (1)鎌倉・室町時代の年表と出来事調べの資料作り
(休日課題)
- (2)学習班で、資料をもとにチャート図づくり、鎌倉・室町時代の
比較

5 成果と課題

- 前時までにチャート作成のための資料作りをしたことによって、だいたいの生徒が各々の時代の特色をつかみ、チャート図作成とまとめのイメージを持つことができていた。
- 資料作りは、「元が大帝国になるまで」の例を示すと、細かいところまで調べ、まとめていた。
- 鎌倉・室町時代の担当2人、計4～5人の学習班で授業を進めた。生徒がペアごとに協力して、時代の特色をまとめることができた。



○学習班で、鎌倉 対 室町でその時代の特徴を報告し合ったそれぞれの気づいた長所短所、特色などの確認が出来ていた。

△PCタブレットの操作が自在にできず、目標の一つだったICT機器によるまとめを比較するところまで至らなかった。

歴史のまとめチャート資料 名前

テーマ 鎌倉 時代はどんな時代？

1できごと (年表)	2政治 (政策、争いなど)
1185 平家・源氏 合戦 1192 源頼朝が室町を治する 1204 源頼朝が鎌倉を治する 1205 北条時義が鎌倉を治する 1219 源頼朝が鎌倉を治する 1230 北条時義が鎌倉を治する 1274 北条時義が鎌倉を治する 1281 北条時義が鎌倉を治する 1299 北条時義が鎌倉を治する 1333 北条時義が鎌倉を治する	・鎌倉幕府の成立 ・源氏と平家 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府の成立
3経済 (貿易など)	4文化
・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展	・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展 ・鎌倉文化の発展
5まとめ (鎌倉 時代はどんな時代か)	
・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する ・鎌倉幕府が鎌倉を治する	

※隣の店の人と鎌倉時代が室町時代が担当を決めよう。Tennis クラスの資料に元寇のページあり。

歴史のまとめチャート資料 名前

テーマ 室町 時代はどんな時代？

1できごと (年表)	2政治 (政策、争いなど)
1336 足利尊氏が室町幕府を開く 1350 足利尊氏が室町幕府を開く 1392 室町幕府の成立 1397 室町幕府の成立 1404 室町幕府の成立 1467 室町幕府の成立 1485 室町幕府の成立 1489 室町幕府の成立 1543 室町幕府の成立 1549 室町幕府の成立 1573 室町幕府の成立	・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立 ・室町幕府の成立
3経済 (貿易など)	4文化
・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展 ・貿易の発展	・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展 ・室町文化の発展
5まとめ (室町 時代はどんな時代か)	
・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する ・室町幕府が室町を治する	

※隣の店の人と鎌倉時代が室町時代が担当を決めよう。Tennis クラスの資料に元寇のページあり。